



からい物を食べると汗が出るのはなぜ

汗には三種類あります

暑い日や運動の後など、体温が上がったときに出てくる汗は、温熱性発汗といい、手のひらと足の裏をのぞく、全身の皮ふから出ます。

それに対し、おどろいたとき、きん張したときに出る汗を、精神性発汗といい、手のひらや足の裏、わきの下だけに汗をかきます。

そして、からい物を食べたときに出る汗を、味覚性発汗といい、顔に汗をかきます。

このように、汗には温熱性・精神性・味覚性発汗の三種類があるのです。

からい物を食べたときに出るあせは精神性発汗

おどろいたときや、サスペンスやスリル満点の映画を見たときなど、思わず「手に汗をにぎる」というのは、三種類の汗の中の精神性発汗です。

汗を出す作用は、自律神経でコントロールされており、すべていろいろな条件で、反射作用として行われているため、自分の自由にはなりません。

そういう反射作用の中に、からい物やすっぱい物を食べたときに、汗を出すという味覚性発汗もふくまれているのです。

精神性発汗を利用したものに、「うそ発見機」といわれている検査器があります。

精神的にどうようしたり、きん張して、汗が出るときの電気でいこうの変化を調べるのです。（監修・保志 宏）

